

対話と学びあいを大切に運動をすすめ 仲間を増やそう!

1・8 広島県労連・ヒロシマ労連が旗開き



労働相談員と民事裁判を闘う「後河内麻季」先生のご両親（中央の人1月8日）



足立浩委員長(右)から、NPT派遣カンパを渡された後、中央委員会参加者にお礼の挨拶する武田喜成青年部長（2月1日台東区民会館）

主催者あいさつで、広島県労連の神部泰議長は、トランプ政権によるベネズエラにたいする侵略行為を厳しく批判するとともに、抗議もしない高市連立政権の姿勢を厳しく批判しました。参加者(団体)の紹介が行われ、労働組合はそれぞれ一分間メッセージを行いました。建交労は山田昭夫委員長が一言メッセージを行いました。その後県労連の労働相談員の紹介と争議を取り組む労働組合の仲間が紹介され、決意表明が行われ、参加者から激励と連帯の拍手がありました。

一月八日(木)の夕方、広島県労連とヒロシマ労連の合同の「2026年新春旗開き」が、開かれました。会場のガーデンパレスに、労働組合や民主団体、政党の代表など約一四〇人が参加しました。

一月三十一日～二月一日の二日間、建交労第二七回中央委員会が開かれ、二〇二六年「春闘方針案」の討議が行われ、「春闘方針」、「建交労中央統一要求基準」など決定しました。

広島県本部の山田中央委員は、「広島事件」が不起訴を勝ち取ったことのお礼やトンネル労働者からの労働相談のことや平和についての提案をしました。

建交労第二七回中央委員会開かれる

ク ス ノ キ 通 信

全日本建設交通一般労働組合広島県本部
〒730-0853
広島市中区堺町一丁目一九三〇三
TEL(〇八二)二三五-三〇五〇
FAX(〇八二)二三五-三〇五二
e-mail
ctfg303.hiroshima@orange.plala.or.jp

青年部の武田喜成部長

ら2名のNPT再検討会

議派遣カンパ呼びかけ

また中央委員会では、今年五月にニューヨークの国連本部で開催される「再検討会議(5年に一度、前回コロナで中止に)」に武田喜成青年部長(県本部書記次長)と内田知也氏(長崎県本部)の青年部員二名を派遣することを確認、全国の建交労の仲間に、代表派遣のためのカンパを呼びかけ、その場で中央委員会参加者からも七万八千円あまりが集まりました。中執でもある武田喜成青年部長はカンパへの感謝と決意表明を行いました。広島県本部としても、代表派遣カンパを積極的に取り組みますのでよろしく願います。

要求アンケート、当面2月13日までに、県本部に送ってください。

「全組合員参加の運動」として賃金引き上げなど要求実現のための重要な取り組みとして、七〇〇枚を目標に取り組みます。

徒然草

一月二三日に国会を冒頭解散。今度の日曜日、二月八日に投票が行われる総選挙。戦後の選挙では解散から投票日までが一番短期間の選挙とのこと一月に解散すること事態私の記憶でもあまりない◆昨年一〇月下旬に維新の会と連立政権を発足させた高市首相はメディアにも「物価対策のため解散している暇はない」と再三答えていた◆その裏では、「今のうちに解散しなければまずい」理由があったのだろうか国会を開き、発足したばかりの政権の政策を国会と国民に説明するのが憲政の常道である◆しかし高市首相は解散を仕掛けた。その理由が「国論を二分するような政策があるので」。それならなおさら、国会で議論し、国民に説明しなければならぬことは常識ではないか。無責任もはなはだしい◆今回の解散は憲法七条(天皇の国事行為その他)に違反との指摘もある。首相の解散権の乱用そのものではないか。

◆「台湾有事発言」やマスコミも報じる「統一教会と自民党との癒着」、高市首相自身の政治と金の問題」、「非核三原則の見直し」など国会で野党に追及されることは多々ある。これを避けての「自己中・自己都合解散」ではないか◆選挙の結果与党で多数の議席になったら私の思うようにさせてもらいますという『白紙委任』解散は到底許されない。高市自民・維新政権に厳しい審判をくだそう(M)

会社に見解を言う労働者は知らぬ間に 辞職、労災隠しも日常茶飯事でした トンネル工事専門の建設会社で25年間就労 パワハラでうつ病や適応障害発症のSさん

広島市内に住むSさん(48歳)は、これまでトンネル工として、神奈川県内に本社があるトンネル専門の下請け工事業者に雇用され、一昨年の一月からは愛知県豊田市の隧道工事現場(農水省発注)に従事していました。

Sさんの現場では、労災事故があつて通報しても現場の仕事は止めず、労災隠しが当たり前の現場になっている。下請会社の上司にこのことを言っても会社は逆にハラスメントと受け止めている。会社に意見を言っていた労働者は、知らないうちに辞めていたり他の会社に移職していたりしていました。

また作業で決められている休憩時間も与えられず、有給休暇も取れず未消化のままという実態を話していました。

Sさん自身は、トンネル工として約25年の従事歴があり、「振動病」の症状も抱えており、同時に昨年一・月ごろには会社によるハラスメントで「うつ病と適応障害」になり市内の病院で治療も受けています。

会社はSさんをハラスメントで解雇したとのこと、Sさんは労職支部に加入し、振動病や難聴の労災申請も今準備していますが、「会社のハラスメントや不当労働行為などでうつ病や適応障害にさせられたことなどは裁判で訴えたい」と話しています。



呉地域労連の皆さんの昨年のハローワーク呉でのアンケートの取り組み(2025.3.24)

ハローワーク前アンケート 今年も取り組みます

中央委員会でも、建交労全国事業団・高齢者部の山室まこと事務局長(建交労島根県本部委員長)から「ハローワーク前アンケート」について発言がありました。島根県本部も昨年8か所のハローワーク前で「働きたい皆さんのアンケート」に取り組み、221人分を集めたとの

報告がありました。

「働かなければ生活できない」求職者がハローワークに仕事を求めている。六〇歳を超えると希望する働き場がないのがどこでも共通しています。

アンケート結果から、「公的な就労の場で働きたい」との希望者が増えているとのこと、これも広島県の昨年のアンケート結果と共通しています。

広島は3月第三週を中心に

広島県内でも県労連とも相談し県内6か所のハローワーク前で3月に取り組みます。第三週を中心に取り組み予定です。各地域労連とも相談し取り組みください。

建交労はすごい!

新春の旗開きに初めて参加した三原支部の重森建洋さん(県本部執行委員)が、三原の藤井康子委員長に発した言葉を、藤井委員長が伝えてきました。

重森さんは「広島県内のこんなに多くの皆さんに守られているのか。建交労三原支部の一員として活動できるのは大きな感動と、感謝の気持ちでいっぱいです」と語っています。核廃絶、平和憲法守れ、労働組合が求められる時です。団結して頑張ろうと熱い言葉で語り合いました。

(建交労三原支部 藤井康子)

今後の組合行動日程など

- 二・五 後河内さんの裁判を支援する会総会(一三時ロードビル)
- 二・七 県本部執行委員会(一〇時)
- 二・八 総選挙投票日
- 二・一一 ヒロシマ革新懇デー
(一三時三〇分〜広島ロードビル三階会議室)
- 二・一五 働く女性の広島県集会(東区地域福祉センター)
- 二・二一 ビギンデー広島集会(東区地域福祉センター)
- 二・二六 ヒロシマ地域総行動
- 三・一二 全国統一行動日(春闘勝利広島県決起集会・県庁前)
- 三・一三 重税反対行動(県内各地)
- 三・二八 県労連・ヒロシマ革新懇・労学協『春の学習会』
(一三時三〇分グリーンアリーナ)
- 四・二五 NPT再検討会議(〜5/3)
- 五・一 第九七回メーデー集会
(広島ハノーバー庭園・予定)

お知らせ

※県本部の「クスノキ通信」は毎月一回発行しています。各支部や職場でのホットな話題や取り組みなど、身近な話題を、「メール」やファクスでお寄せください。メールとファクスは以下の通りです。お待ちしております。

ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp
Fax 〇八二―二三五―三〇五二